

施設長 高原 信夫

シャローム横浜
株式会社



3階副主任 高橋 真樹子



安心・快適な生活を支えるために



日頃より当施設の運営にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。当施設では、ご利用者が現在できることをできる限り維持し、日々の生活を元気に過ごしていただけるよう、機能訓練を通じたサポートを行っております。その取り組みの一環として、ご利用者の身体状況に応じた福祉用具（靴やクッション等）の選定・見直しも行っております。

これらの用具に劣化やへたりが見られた場合には、できるだけお体への負担を軽減できるよう、新しいものへの交換をご提案させていただく場合がございます。その際には、ご家族にもご相談させていただくことがございますので、何卒ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

また、ご家族からのご相談・ご要望も随時承っております。気になることがございましたら、どうぞお気軽にお声がけください。

機能訓練指導員 山中 真



夏の「あんみつ屋台」を開催しました

8月2日、栄養課主催で「あんみつ屋台」を開催しました。入居者の皆さまは「おいしいね」と笑顔で召し上がり、中にはおかわりを希望される方もいらっしゃるなど、大変好評をいただきました。

あんみつの具材は、寒天、キウイフルーツ、黄桃、みかん、さくらんぼ、あんこ、バニラアイスを使用

し、黒蜜をかけてご提供しました。彩りも豊かで、夏らしい涼やかなひとときを楽しんでいただくことができました。

9月の栄養課主催の行事は、ピザを予定しています。

栄養課課長 小寺 秀偉



祈り一人と動物を分かち決定的要素

今月は人間と動物を分ける決定的な違いをもたらす要素についてお伝え致します。私の家はいわゆる日本文化の伝統を受け継いだ家であります。今も、私の実家には先祖を弔う仏壇があり、又、神社氏子を示す神棚が祀られています。そうした環境に育った私ですが、神様に祈ることの本当の意味を当時は教えられませんでした。「祈る」ことの本当の意味を教えられ、また、実践するようになったのは、キリスト教に触れ、教会に行くようになり、聖書の学びを通してからでした。その学びを通して、「祈る」ことの本当の意味と大切さを知りました。また、人間としての特権でもある、平和と平安を得られる時間（祈りの時間）を持てるようになったことを、幸せに感じ、感謝しています。

米国女性宗教家として著名なエレン・ホワイトは

第221回 チャプレン 上前 至

その著書『キリストへの道』の中の「祈りの特権」126頁に「神は自然と聖書、摂理、及び聖霊の感化を通して私共に語り給います。しかし、それだけでは十分ではありません。私共も、又、神に心を注ぎだす必要があります。霊的生命と力を得る為には私共の天の父と実際に交わらねばなりません。・・・神と交わるためには私共の実生活について何か神に話すことがなければなりません。」そして「祈りとは、友だちに語るように心を神に打ち明ける事であります」と述べています。

皆様にも信頼する友には何でも打ち明けて話せるような祈りの時間を持ってみてください。そして人間にしか味わえない特権を是非、味わってみてください。

